

はつらつ宮っこ

今、輝いている市民



前年度優勝校として挑んだ昨年の同大会では、予選敗退という悔しい結果に。その悔しさをばねに、これまで以上に真剣に将棋と向き合い、練習を続けてきたといいます。今大会は、小学生の頃から、同じ将棋教室に通い、お互いにライバルと意識してきた3人が出場メンバーに。「普段から仲が良く、信頼しているの、安心して試合に挑め

た」と大会を振り返ります。また、将棋の魅力を「AIでも解析できない部分はまだある。勝ちを求めると、奥深く、楽しい。年齢関係なく楽しめるのが魅力」と笑顔で話します。今後の目標は、「大学将棋で日本一になること、大会2連覇、一般の大会でも優勝」と、それぞれが新たな気持ちで今日も将棋の駒に思いを込めます。

8月に開催された、第42回全国高等学校総合文化祭の将棋部門男子団体戦で、2年ぶり2度目の優勝を果たした文星芸術大学附属高等学校将棋部。

「緊張もあったが、気負わずに自分たちの将棋を指すことができた」と表情はこやかです。



▲鹿野 隼人さん、堤 俊由輝さん、速水 秀馬さん

信頼する仲間とつかんだ

2年ぶり2度目の全国優勝

文星芸術大学附属高等学校 将棋部

今回のゲスト



ルオー ブノワさん (フランス)
10年前から市内に在住し、フランス料理店を営む。フランスではパソコンに向かって仕事をしてきたが、日本に来てから料理を修行し、現在に至る。日本の映画や書籍が好き。



1旧篠原家住宅 2法被を着て、帳場体験をするブノワさん。藍原洋子さん(旧篠原家住宅保存会事務局長)より説明を受けます 3赤川ダムの周りを歩き、「山が水に映ってきれい」とブノワさん 4ダムの周りは一周約1.5kmあり、サイクリングやウォーキングをすることができます。

「うつのみや百景」について、12月9日(日)午前10時30分~10時40分とちぎテレビ「教えてイトコUTSUNOMIYA」(再放送)で放送します(6ページ参照)。併せてご視聴ください。



ページ番号 1014236

外国人の皆さんに宇都宮のイトコを訪れてもらいました 今回のテーマは「うつのみや百景」

今回は、「うつのみや百景」を巡りました。まずはJR宇都宮駅から歩いてすぐの、旧篠原家住宅へ。なんと、100年以上も前に建てられたこの建物は、宇都宮空襲で焼け残り、当時とほぼ変わらない姿なんだそうです。とても太い大黒柱や20畳の大広間、階段の下を引き出しにして、ロストスペースを生まない工夫をした箱階段など、石造りのフランスの建物にはないものばかりでおもしろかったです。

続いて、赤川ダムと古賀志山の景色がきれいな森林公園。レンタサイクルで、ロードバイクにチャレンジしましたが、自然の中を走るの、気持ちいいですね。ダムの周辺コースはきちんと整備され、キャンプやバーベキューなども楽しめるので、次は家族と一緒に来たいです。

街のすぐそばに自然があるところは、私が宇都宮を大好きな理由の一つです。今回は種類の違う「うつのみや百景」で、いろいろな景色を見ることができて、本当に楽しい時間が過ごせました。

◎12月16日(第3日曜日)は「家庭の日」本市では、家庭における親と子の触れ合いや絆づくりを推進するため、「ふれあいのある家庭づくり事業」に取り組んでいます。もうすぐ1年が終わります。家族でこの1年を振り返り、来年はどんな1年にしたいか、一緒に話し合ってみませんか。この機会に家族のきずなを深めましょう。☎子ども未来課☎(632)2344



本文中に記載がないものは、原則として、対象りなたでも、費用り無料、申込り不要(定員の記載があり申込の記載がないものも、当日、直接会場へ)。HPりホームページ、Eメールアドレス、地区市民センター、出張所、生涯学習センター、参りつつのみや表参道スウェーア、地域コミュニティセンター、活り市民活動センター、申込時に記載する基本項目は、催し名・郵便番号・住所・氏名・ふりがな・電話番号・人数。